



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 進学会

コード番号 9760 URL <http://www.shingakukai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 平井 睦雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員社長管理本部長 (氏名) 松田 啓

TEL 011-863-5557

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	4,205	6.2	49	△62.3	736	14.9	462	△90.6
28年3月期第3四半期	3,958	△1.2	132	115.8	640	△27.6	4,922	595.9

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 719百万円 (△84.2%) 28年3月期第3四半期 4,541百万円 (595.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	23.17	—
28年3月期第3四半期	246.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	30,925	27,882	90.2	1,395.49
28年3月期	29,304	27,761	94.7	1,389.48

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 27,882百万円 28年3月期 27,761百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,450	0.3	270	5.9	450	37.6	310	△93.4	15.52

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	20,031,000 株	28年3月期	20,031,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	50,913 株	28年3月期	50,853 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	19,980,105 株	28年3月期3Q	19,980,159 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注記事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(2) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不確実性による下振れリスクをはらみながらも雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調となりました。

当学習塾業界におきましては、少子化傾向に対応するため各社ともエリア拡大や集客力のあるメニュー開発を行い、経営体質の強化や業容拡大、シナジー効果を期待した業務提携や資本提携の動きが見られ、業界再編が進行しております。また、進学校への受験意欲は高く、進学塾に対するニーズは依然根強いものがあります。

このような状況のもと、当社グループは市場の拡大、積極的な資金運用及び賃貸不動産物件の取得等により、収益増加を図ってまいりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は4,205百万円（前年同四半期比6.2%増）、営業利益につきましては、49百万円（前年同四半期比62.3%減）、経常利益につきましては、736百万円（前年同四半期比14.9%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同四半期に計上した投資有価証券売却益による特別利益がなくなったことから、462百万円（前年同四半期比90.6%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の概況は、次のとおりであります。

①塾関連事業

引き続き会場のスクラップ&ビルドを積極的に推進し、地域ナンバーワン校への合格実績を高めるためにコース・メニューの拡充と指導力の更なる強化を実施してまいりました。特に、会場の新設につきましては、冬期講習に向けて合計41会場を新設し、三学期以降の生徒数増加に向けた土台作りを行いました。

その結果、12月末時点の本部数は、新設の浦和本部（埼玉県）、岡崎本部（愛知県）を含んで合計75本部、会場数は409会場となりました。

個別指導部門の株式会社プログレスは、売上高181百万円（前年同四半期比3.4%増）となりました。

この結果、塾関連事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は3,125百万円（前年同四半期比1.4%減）となりました。セグメント利益は197百万円（前年同四半期比31.1%減）となりました。

②スポーツ事業

札幌市内3ヶ所に施設を構えるスポーツクラブZ i pは、開設30周年記念キャンペーンが功を奏し、売上高466百万円（前年同四半期比3.6%増）、セグメント利益は80百万円（前年同四半期比108.8%増）となりました。

③賃貸事業

当社が保有する賃貸物件等は、入居率も高く、売上高は158百万円（前年同四半期比15.8%増）となりましたが、新たに収益物件を購入したため、セグメント利益は74百万円（前年同四半期比4.9%減）となりました。

④その他

本セグメントは、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教材の印刷や備品・消耗品の仕入販売及び資金運用などを含んでおります。当第3四半期連結累計期間においては、売上高は株式会社進学会総研を設立したことにより454百万円（前年同四半期比124.5%増）、セグメント利益は33百万円（前年同四半期比97.3%増）となりました。

※セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は16,579百万円となり、前連結会計年度末に比べ881百万円増加しました。これは主に有価証券が4,280百万円増加した一方、現金及び預金が2,937百万円、未収還付法人税等が582百万円減少したことによるものです。固定資産は14,346百万円となり、前連結会計年度末に比べ739百万円増加しました。これは主に有形固定資産が2,296百万円増加した一方、投資有価証券が1,491百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は30,925百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,621百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,496百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,444百万円増加しました。これは主に短期借入金が増加したことや前受金が増加したことなどによるものです。また、固定負債は546百万円となり、前連結会計年度末に比べ56百万円増加しました。

この結果、負債合計は3,043百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,500百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は27,882百万円となり、前連結会計年度末に比べ120百万円増加しました。これは主にその他有価証券評価差額金が増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は90.2%（前連結会計年度末は94.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月13日の「平成28年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,836,750	11,898,755
受取手形及び営業未収入金	57,363	75,244
有価証券	115	4,280,379
商品及び製品	13,021	6,895
仕掛品	8,250	2,527
原材料及び貯蔵品	22,045	10,782
繰延税金資産	51,849	47,272
未収還付法人税等	582,938	-
その他	126,914	259,486
貸倒引当金	△1,284	△2,028
流動資産合計	15,697,967	16,579,315
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,824,671	11,602,642
減価償却累計額	△6,244,340	△6,391,168
建物及び構築物(純額)	3,580,330	5,211,473
機械装置及び運搬具	556,900	562,517
減価償却累計額	△520,375	△525,724
機械装置及び運搬具(純額)	36,525	36,793
土地	2,605,869	3,258,408
その他	967,935	986,833
減価償却累計額	△914,728	△921,509
その他(純額)	53,206	65,323
有形固定資産合計	6,275,932	8,571,998
無形固定資産		
ソフトウェア	19,710	16,402
電話加入権	1,259	1,259
施設利用権	6,425	6,425
無形固定資産合計	27,394	24,086
投資その他の資産		
投資有価証券	6,748,853	5,257,047
繰延税金資産	72,235	3,156
敷金及び保証金	293,945	299,642
退職給付に係る資産	32,021	39,514
その他	156,018	150,639
投資その他の資産合計	7,303,075	5,749,999
固定資産合計	13,606,402	14,346,085
資産合計	29,304,369	30,925,400

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	72,565	85,441
短期借入金	-	1,000,000
未払金	315,932	179,670
未払法人税等	100,261	213,397
未払費用	186,825	178,164
前受金	370,106	804,198
その他	6,609	35,775
流動負債合計	1,052,300	2,496,647
固定負債		
繰延税金負債	2,034	36,088
役員退職慰労引当金	269,767	270,923
資産除去債務	193,340	206,374
預り敷金保証金	24,966	33,285
固定負債合計	490,109	546,672
負債合計	1,542,410	3,043,320
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,984,100	3,984,100
資本剰余金	3,344,000	3,344,000
利益剰余金	20,607,464	20,471,022
自己株式	△45,535	△45,568
株主資本合計	27,890,029	27,753,553
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△162,782	96,857
退職給付に係る調整累計額	34,712	31,668
その他の包括利益累計額合計	△128,070	128,526
純資産合計	27,761,959	27,882,079
負債純資産合計	29,304,369	30,925,400

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	3,958,246	4,205,023
売上原価	3,101,840	3,345,980
売上総利益	856,405	859,042
販売費及び一般管理費	724,326	809,301
営業利益	132,079	49,741
営業外収益		
受取利息	47,930	82,140
受取配当金	63,485	89,458
有価証券償還益	3,520	-
有価証券売却益	503,073	419,730
有価証券評価益	990	-
為替差益	-	68,910
その他	18,245	29,193
営業外収益合計	637,245	689,433
営業外費用		
支払利息	-	1,701
持分法による投資損失	119,092	-
為替差損	8,237	-
その他	1,056	910
営業外費用合計	128,386	2,612
経常利益	640,937	736,562
特別利益		
投資有価証券売却益	4,903,426	-
特別利益合計	4,903,426	-
特別損失		
固定資産除却損	20,832	14,648
投資有価証券評価損	563	-
特別損失合計	21,395	14,648
税金等調整前四半期純利益	5,522,969	721,913
法人税等	600,010	258,952
四半期純利益	4,922,958	462,961
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,922,958	462,961

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	4,922,958	462,961
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△440,711	259,640
退職給付に係る調整額	△2,834	△3,043
持分法適用会社に対する持分相当額	15,499	-
持分法適用会社に関する持分変動差額	46,627	-
その他の包括利益合計	△381,418	256,596
四半期包括利益	4,541,539	719,558
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,541,539	719,558
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	塾関連事業	スポーツ 事業	賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,168,570	450,639	136,668	3,755,877	202,368	3,958,246	—	3,958,246
セグメント 間の内部売上 高又は振替高	—	—	69,417	69,417	133,029	202,447	△202,447	—
計	3,168,570	450,639	206,086	3,825,295	335,398	4,160,693	△202,447	3,958,246
セグメント利 益	286,217	38,369	78,583	403,171	17,086	420,257	△288,178	132,079

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教材の印刷や備品・消耗品の仕入販売を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用及びセグメント間の取引の消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	塾関連事業	スポーツ 事業	賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,125,648	466,746	158,293	3,750,688	454,335	4,205,023	—	4,205,023
セグメント 間の内部売上 高又は振替高	—	—	72,686	72,686	168,981	241,668	△241,668	—
計	3,125,648	466,746	230,980	3,823,375	623,317	4,446,692	△241,668	4,205,023
セグメント利 益	197,179	80,121	74,749	352,050	33,718	385,769	△336,027	49,741

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教材の印刷や備品・消耗品の仕入販売及び資金運用等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用及びセグメント間の取引の消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。